

県下JAの平成30年度決算の概要

令和元年7月3日
静岡県農業協同組合中央会

1. 損益の状況

～ 事業総利益が5期ぶりの増益 ～

(単位:百万円)

	30年度	前年比		
		前年比	比率	
事業総利益	76,831	194	100.3%	(一般企業の売上総利益に該当)
うち信用	40,710	1,264	103.2%	(貯金の受入、資金の融資)
共済	23,771	▲ 341	98.6%	(共済商品の取扱)
購買	7,369	▲ 437	94.4%	(農業生産資材、生活資材の販売)
販売	3,758	▲ 110	97.2%	(農畜産物の販売)
加工	821	▲ 57	93.5%	(茶など農産加工品の販売)
指導	▲ 1,439	▲ 65	-	(農業の経営・栽培技術向上のための指導)
事業管理費	69,685	▲ 342	99.5%	(一般企業の販売費・一般管理費に該当)
事業利益	7,146	536	108.1%	
経常利益	10,635	606	106.0%	
税引前当期利益	7,815	▲ 1,802	81.3%	
当期剰余金	5,863	▲ 1,237	82.6%	

(1) 事業総利益は768.3億円、前年比100.3%と2億円の増益

一般企業の売上総利益に当たる事業総利益が768.3億円(前年比100.3%、2億円増)と5期ぶりの増益となった。

① 信用事業

会計処理の見直し等により預金利息が23.2億円増加した一方で、有価証券の売却が少なく有価証券利益が11.8億円減少したため、信用事業総利益は407.1億円(前年比103.2%、12.6億円増)となった。

② 共済事業

奨励金等が 2.3 億円増加した一方、長期共済新契約高の減少により共済付加収入が 6.7 億円減少したため、共済事業総利益は 237.7 億円（前年比 98.6%、3.4 億円減）となった。

③ 購買事業

給油所の業務委託による石油類（生活）・L P ガスの供給・取扱高の減少等により購買事業総利益は 73.7 億円（前年比 94.4%、4.4 億円減）となった。

④ 販売事業

みかんが豊作であった一方、台風や猛暑等の天候不順により野菜等の販売品販売・取扱高が減少したため、販売事業総利益は 37.6 億円（前年比 97.2%、1.1 億円減）となった。

⑤ 指導事業

組合員の農業所得向上に向けた営農指導の支出は 0.9 億円増加しており、指導事業総利益は▲14.4 億円（0.7 億円減）となった。

(2) 事業利益は 71.5 億円、前年比 108.2%と 5.4 億円の増益

事業管理費は 696.9 億円（前年比 99.5%、3.4 億円減）となり、事業利益は 71.5 億円（前年比 108.2%、5.4 億円増）と増益となった。

(3) 経常利益は 106.4 億円、前年比 106.0%と 6.1 億円の増益

(4) 税引前当期利益は 78.2 億円、前年比 81.3%と 18.0 億円の減益

店舗統廃合で減損損失を計上した等により、税引前当期利益は 18.0 億円の減益となった。

(5) 当期剰余金は 58.6 億円、前年比 82.6%と 12.4 億円の減益

2. 主要事業量

(単位:百万円)

	30年度実績	前年比		全国順位
		増減	比率	
貯金	5,368,721	102,618	101.9%	4
預金	3,930,862	112,435	102.9%	-
貸出金	1,286,939	▲ 1,006	99.9%	3
有価証券	315,138	▲ 1,005	99.7%	-
長期共済保有高	14,707,901	▲ 287,424	98.1%	2
長期共済新契約高	1,748,471	▲ 289,003	85.8%	1
購買品供給・取扱高	51,229	▲ 1,410	97.3%	-
販売品販売・取扱高	87,794	▲ 3,418	96.3%	-
(うちファーマーズマーケット等)	12,290	▲ 205	98.4%	-
(うち買取販売高)	3,916	178	104.8%	-
製品販売高	6,546	▲ 380	94.5%	-

(1) 信用事業

貯金は5兆3,687億円で前年比101.9%、1,026億円の増加、一方貸出金は1兆2,869億円で前年比99.9%、10億円の減少となった。

なお、全国順位では貯金は愛知県、神奈川県、兵庫県に次ぐ4位、貸出金は神奈川県、愛知県に次ぐ3位の実績となった。

(2) 共済事業

長期共済保有高は14兆7,079億円で前年比98.1%、2,874億円の減少、長期共済新契約高は、1兆7,485億円で前年比85.8%、2,890億円の減少となった。

なお、全国順位では保有高は愛知県に次ぐ2位、新契約高は1位の実績となった。

(3) 購買事業

購買品供給・取扱高は512億円で前年比97.3%、14億円の減少となった。

これは保温資材が3.2億円、農業機械が1.3億円増加した一方で、給油所の業務委託により石油類(生活)が9.7億円、事業譲渡によりLPガスが3.9億円減少したことによる。

(4) 販売事業

販売品販売・取扱高は878億円で前年比96.3%、34億円の減少となった。

これは、みかんが表年で15.5億円増加した一方、天候不順のため野菜が29.5億円減少する等農産物全般で取扱高が減少したことによる。

3. 財務の健全性

不良債権への対応 ～不良債権比率は0.19ポイント改善～

不良債権額は25.4億円減少し、123.8億円となった。不良債権比率（リスク管理債権比率）は、0.96%となり前年比0.19ポイント改善した。

なお、不良債権に対しては、担保や貸倒引当金により十分な保全が図られている。

不良債権の状況

（単位：百万円）

	貸出金残高	不良債権額	不良債権の内訳				不良債権比率
			破綻先	延滞	3ヶ月以上延滞	貸出条件緩和	
県下合計	1,287,263	12,375	829	11,061	0	483	0.96
対前年増減	▲ 779	▲ 2,537	458	▲ 3,038	0	42	▲ 0.19
対前年比(%)	99.9	83.0					

<県下17JA>

伊豆太陽	三島函南	伊豆の国	あいら伊豆	なんすん	御殿場
富士市	富士宮	しみず	静岡市	大井川	ハイナン
掛川市	遠州夢咲	遠州中央	とぴあ浜松	みっかび	